

同訓異義

Ⅲ. 次のカタカナを漢字になおしなさい。

一.

- 「放火犯人をアげる。
- 「柵へ荷をアげる。
- 「テンプラをアげる。

二.

- 「アタタかい氣候。
- 「アタタかい人情。

三.

- 「夏のアツい日。
- 「アツい本。
- 「アツいお茶。

四.

- 「傷がイタむ。
- 「友の死をイタむ。

五.

- 「手をウって喜ぶ。
- 「杭をウつ。
- 「敵をウつ。
- 「鳥をウち落とす。

六.

- 「水にウツる月影。
- 「居を郊外にウツす。
- 「文章をウツす。

七.

- 「議長にオす。
- 「荷車をオす。

八.

- 「領土をオカす。
- 「危険をオカす。
- 「罪をオカす。

挙上揚

温暖

暑厚熱

痛悼

拍打討撃

映移写

推押

侵犯冒犯

「税金をオサめる。
 身をオサめる。
 成果をオサめる。
 紛争をオサめる。」

一〇

「場所をカえる。
 挨拶にカえる。
 現金にカえる。」

一一

「郷里にカえる。
 借りた本をカエす。」

一二

「自らをカエリみる。
 過去をカエリみる。」

一三

「カタいボールを用いる。
 意志がカタい。
 カタい決心。」

一四

「真理をキワめる。
 キワめて残念だ。
 進退キワまる。」

一五

「山をコえて隣村にでる。
 程度をコえたいたずら。
 コえた土地。」

一六

「悪人をコらしめる。
 工夫をコらす。」

納修治

変代換

帰返

省顧

硬堅固

究極窮

越超越肥

懲凝

一七

布をさく。
時間をさく。
人目をさける。

避割裂

一八

非行をサトす。
世の無常をサトる。

悟諭

一九

帯をシめる。
首をシめる。
よい位置をシめる。

占絞締

二〇

暴動をシズめる。
敵艦をシズめる。

沈鎮

二一

マッチをスる。
名刺をスる。
墨をスる。

摺刷擦

二二

預金をススめる。
良書をススめる。
馬を前にススめる。

進薦勧

二三

失敗をセめる。
城をセめる。

攻責

二四

川にソって歩く。
花束に手紙をソえる。

添沿

二五

道をタズねる。
友をタズねる。

訪尋

二六.

「船で横浜にツク。

「皇位にツク。

「職にツク。

「人をツキ倒す。

二七.

「会社の事務をとる。

「写真をとる。

「山へ昆虫をとりに行く。

「手にトつて見る。

二八.

「準備をトトノえる。

「音律をトトノえる。

二九.

「先例にナラう。

「字をナラう。

三〇.

「手足をノばす。

「出発をノばす。

三一.

「開会式にノゾむ。

「遠く海をノゾむ。

三二.

「長さや広さをハカる。

「時間をハカる。

「暗殺をハカる。

「重さをハカる。

「合理化をハカる。

「会議にハカる。

三三.

「富士山がミエる。

「医者が患者をミる。

突就即着

取採撮執

調整

習倣

延伸

望臨

諮図量謀計測

診見

「敵味方にワかれる。
ワかれの挨拶。
お湯がワく。」

沸別分